令 和 2 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人　はぴねす福祉会

目　次

令和２年度　事業報告書

法　人　本　部　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１　～　５

生活介護事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６　～　９

居宅介護等事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０　～　１１

手話通訳事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２　～　１４
1. 手話通訳設置事業
2. 手話通訳者及び要約筆記者派遣事業
3. 手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成研修事業
4. あゆみの里手話通訳者等派遣事業

地域活動支援センター事業　・・・・・・・・・・・・　１５　～　１７

障がい児通所支援事業　・・・・・・・・・・・・・・　１８　～　２０

日中一時支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

相談支援事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２　～　２５
1. 委託、指定相談支援事業
2. 島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点業務

就労支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６　～　２９
就労継続支援Ｂ型事業・・・・・・・・・・・・・・・・　３０　～　３２

令和２年度　法人本部事業報告書

1.　役員・評議員の状況

	理事（内業務執行理事）	監　事	評議員
定　数	6　（１）	2	7
現員数	6　（１）	2	7

理事･監事　任期　令和１年６月 21 日～令和３年６月開催予定の定時評議員会まで
評　議　員　任期　平成 29 年４月１日～令和３年６月開催予定の定時評議員会まで

2.　理事会の開催状況

理事会　　年２回以上開催する

（１）定時理事会　６月上旬、３月中旬に開催

（２）臨時理事会　上記以外に必要に応じて開催

回数	開催日	審議事項	出席 理事・監事数
1	令和２年 ６月９日	議案第 1 号　令和１年度事業報告書（案）の承認について 議案第 2 号　令和１年度計算関係書類等（案）の承認について 議案第 3 号　令和２年度定時評議員会招集の承認について 議案第 4 号　運営規程の改正について 議案第 5 号　運営規程の制定について 議案第 6 号　経理規程の一部変更について	理事６名 監事２名
2	令和２年 7 月 31 日	議案第 7 号　あゆみの里就労支援事業新規事業の承認について 議案第 8 号　臨時評議員会開催の承認について	理事６名 監事２名
3	令和２年 9 月 11 日	議案第 9 号　あゆみの里就労支援事業所の菓子製造用調理場建設に伴う実施設計・監理業者の承認について 議案第 10 号　あゆみの里就労支援事業所の菓子製造用調理場建設の伴う建設業者の選定について 議案第 11 号　あゆみの里就労支援事業所の菓子製造用調理場建設に伴う予定価格について 議案第 12 号　あゆみの里就労支援事業所の菓子製造用調理場建設に伴う現場説明事項について 議案第 13 号　臨時評議員会開催の承認について	理事６名 監事１名

4	令和２年 10月26日	議案第14号　あゆみの里就労支援事業所レインボーハウスの菓子製造用調理場建設に伴う落札業者の承認について 議案第15号　あゆみの里就労支援事業所レインボーハウスの菓子製造用調理場建設に伴う工事請負契約書締結の承認について 議案第16号　臨時評議員会開催の承認について	理事６名 監事２名
5	令和２年 12月10日	議案第17号　令和２年度第１次補正予算の承認について 議案第18号　臨時評議員会開催の承認について 議案第19号　人事考課制度規程の制定の承認について 議案第20号　リース契約締結の承認について	理事６名 監事２名
6	令和３年 ３月19日	議案第21号　令和２年度第２次補正予算(案)の承認について 議案第22号　令和３年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認について 議案第23号　臨時評議員会開催の承認について 議案第24号　益田市地域生活支援拠点等事業の整備に伴う運営規程の変更について 議案第25号　定款の一部変更について 議案第26号　新評議員候補者の推薦承認について 議案第27号　評議員選任・解任委員会招集の承認について	理事６名 監事２名

3.　評議員会の開催状況

評議委員会　　年２回以上開催する

（１）定時評議員会　６月中旬から下旬に開催

（２）臨時評議員会　上記以外に必要に応じて開催

回数	開催日	審議事項	出席 評議員数
1	令和２年 ６月22日	議案第１号　令和１年度計算関係書類及び財産目録等の承認について	５名
2	令和２年 ８月７日	議案第２号　あゆみの里就労支援事業新規事業の承認について	４名
3	令和２年 ９月18日	議案第３号　あゆみの里就労支援事業の菓子製造用調理場建設に伴う実施設計・監理業者の承認について	５名
4	令和２年 11月２日	議案第４号　あゆみの里就労支援事業所レインボーハウスの菓子製造用調理場建設に伴う落札業者の承認について 議案第５号　あゆみの里就労支援事業所レインボーハ	５名

		ウスの菓子製造用調理場建設に伴う工事請負契約書締結の承認について	
5	令和2年 12月21日	議案第6号　令和2年度第1次補正予算(案)の承認について 議案第7号　人事考課制度実施規程の制定の承認について 議案第8号　リース契約締結の承認について	4名
6	令和3年 3月30日	議案第9号　令和2年度第2次補正予算(案)の承認について 議案第10号　令和3年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認について 議案第11号　益田市地域生活支援拠点等事業の整備に伴う運営規程の変更について 議案第12号　定款の一部変更について	5名

4.　監査・会議等

【監査】

(1) 竹内会計監査　　毎月1回実施
(2) 内部経理監査　　令和2年5月25日実施
(3) 監事監査　　令和2年5月26日、令和2年11月25日実施
(4) 指導監査　　無し

【会議】

(1) 運営会議　　毎月1回開催
(2) 福祉ゾーン連絡協議会　　毎月1回開催

5.　委員会

(1) 苦情解決委員会　　令和2年10月6日開催
(2) 虐待防止委員会　　〃
(3) 衛生委員会　　毎月1回開催
(4) 防火管理委員会　　毎月1回開催
　　6月3日　：防災訓練（水害）実施
　　8月3日　：児童デイ火災時避難訓練実施
　　11月6日　：あゆみの里防災訓練（地震）実施

6.　研修・説明会等

【施設外】　*コロナ感染予防対策で、例年の研修等が中止となった。

益田市社会福祉法人会　　令和2年8月5日、9月17日（市内）
益田市在宅重度心身障害児者親の会　　令和2年10月27日（市内）
労務管理研修　　令和2年10月16日（市内）

法人監事研修	令和 2 年 12 月 18 日（浜田）
経営者セミナー	令和 3 年 3 月 8 日　（Zoom）
精神障がい者の地域生活を支える会	令和 3 年 3 月 24 日（当施設）

【施設内】

心肺蘇生講習会	令和 2 年 6 月 18 日
人事考課研修	令和 2 年 12 月 19 日（対象:主任）
〃	令和 3 年 3 月 25 日（対象:職員）

7. 行事等

ライト・イット・アップ・ブルー	令和 2 年 4 月 2 日～8 日
奉仕活動（館内清掃、草刈り等）	令和 2 年 6 月 6 日、10 月 3 日
ウォーキング大会(衛生委員会主催)	令和 2 年 10 月 31 日
創立 20 周年記念式典	令和 2 年 11 月 16 日
あゆみの里まつり	中止

8. その他

レインボーハウス菓子製造工場の新設	令和 3 年 2 月 22 日完成

9. 加入団体

- 島根県社会福祉協議会
- 益田市社会福祉協議会
- 石西地区人権を考える企業等連絡会
- 益田鹿足成年後見センター
- 島根県安全運転管理者協会
- 益田地区安全運転管理者協会
- 島根県社会福祉法人経営者協議会
- 独立行政法人福祉医療機構
- 島根県西部勤労者共済会
- 島根県障害者スポーツ協会
- 益田市社会福祉法人連合会
- 益田商工会議所

10. 成果と課題

○ 内部管理体制の確立

部長制度（障害福祉サービス事業部長、地域生活支援事業部長）を設け、各事業所への指導・フォローに努めた。命令系統の確立・徹底にまでは至らず、引き続き取組んでいきたい。

○ 法人の健全経営への改善

3 期連続の赤字計上となった。単価改正、度重なる委託料の大幅な減額が大きく

影響している。しかしながら、毎期、各事業所自らが予算建てを行い達成を目指して活動しており、前述の理由だけで赤字計上となったわけではなく、ここに職員一人ひとりの仕事に対する取り組み姿勢を省みる必要があるのではなかろうかと思う。

また、赤字計上の事業については早急に現状把握に努め、厳正なる見直しを慎重に行う必要がある。

○ 組織の一員であることの職員の自覚

過去の実績にとらわれず、役職員全員が現状をしっかりと見つめ、危機感を共有し、組織の一員として今できることを先ずはやってみることが重要と思う。

○ 人事考課制度の導入

処遇改善加算の見直しを図り、定期昇給据え置きの中、手当等の大幅な加算が実現でき　たが、職務に対しての個々の意識改革には至っていない。

人事考課制度についての職員研修を行ったが、再度研修を重ねながら、来年度から取組みたいと思う。

令和２年度　生活介護事業報告書

1.　登録者数　４３人（令和３年３月 31 日現在）
2.　実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
延利用者数（人）	343	329	349	354	310	351
開設日数（日）	22	21	22	23	21	22
令和２年度１日平均（人）	**15.6**	**15.7**	**15.9**	**15.4**	**14.8**	**16.0**
令和１年度１日平均（人）	15.9	15.0	15.9	15.3	14.6	14.1
益田市延利用者数（人）	324	314	333	335	298	338
その他延利用者（人）	19	15	16	19	12	13
契約者数（人）	41	41	43	41	42	43
新規契約者数	1	0	2	0	1	1
契約解除者数	0	0	0	2	0	0

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延利用者数（人）	366	343	330	311	306	366	4,055
開設日数（日）	22	21	21	20	20	23	258
令和２年度１日平均（人）	**16.6**	**16.3**	**15.7**	**15.6**	**15.3**	**15.8**	**15.7**
令和１年度１日平均（人）	14.3	13.3	14.2	13.6	13.5	14.3	14.5
益田市延利用者数（人）	355	335	322	301	294	349	3,898
その他延利用者数（人）	11	8	8	10	12	14	157
契約者数（人）	45	45	45	43	43	43	
新規契約者数	2	0	0	1	0	1	9
契約解除者数	0	0	0	3	0	1	6

令和２年度　障害別契約者数（令和３年３月 31 日現在）			
身体	知的	精神	合計
２６人	１３人	４人	４３人

（男性 20 名　女性 23 名　平均年齢 53 歳）

障がい支援区分別　利用者数　　平均障がい支援区分　4.1

区分	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６
人数	8 人	12 人	14 人	9 人	8 人

3.　主な活動内容

月	社会参加支援	日中活動（創作・レク）	生産活動（畑作業）	その他
4	ライトイットアップブル青の作品展 外出行事　お花見 （日原カントリーパーク）	習字活動	えんどう豆収穫 サラダ菜植え付け 里いも、じゃが芋土寄せ	中学生、高校生ボランティア
5	GW お楽しみ会 （ビンゴゲーム）	壁面飾り：こいのぼり アジサイ カエル	しょうが、トマト、ナス、カボチャ、レタス苗植え付け、いんげん豆、きゅうり、ピーマン、里いも植え付け	
6	外出行事 （さんさん牧場･グラントワ）	おやつ作り：蒸しじゃが芋 習字活動	じゃがいも、サラダ菜収穫 さつまいも植え付け 玉ねぎ収穫	三施設合同避難訓練 （水害）
7	七夕行事	壁面飾り：七夕飾り 水族館魚	きゅうり、 いんげん豆収穫	三施設合同美化活動 （プランター花植え）
8	ショッピング （トライアル）	壁面飾り：ひまわり　星 浴衣会 おやつ作り：かき氷 習字活動		
9	芋ほり交流会 （こもれびボランティア）	壁面飾り：コスモス	白菜植え付け しょうが	
10		壁面飾り：トンボ	さつまいも・里芋収穫 カボチャ、ひょうたんカボチャ収穫	こもれびボランティア （畑作業　芋ほり）
11	外出行事 ショッピング （キヌヤ SC）	壁面飾り：「うし」 お月見展示 正月用　書初め	カボチャ、ひょうたんカボチャ収穫	益田養護学校　高等部 1 年生　実習
12	クリスマス会	モビール：雪の結晶 クリスマスツリー作り ツリー飾り付け クリスマス会 習字活動･正月飾り作り （書初め） 「亥」飾りつけ	ブロッコリー収穫	益田養護学校　高等部 1 年生　実習
1	外出行事 初詣（柿本神社）	おやつ作り：ぜんざい振る舞い		
2		習字活動	高菜収穫	
3		壁面飾り；桜の花 ひな祭り行事「パネル」 利用者会議	じゃがいも植え 高菜収穫	

実施した活動（講座）

- 講座　　月１回　　エコクラフト、ステンシル、音楽、３B 体操、習字
- リハビリテーション　理学リハビリ１回
  言語リハビリ１回
  （リハビリテーションカレッジ島根）
- ボランティア　　大正琴、園芸

4.　職員研修・会議

研修内容	開催地
6/17・・・衛生委員会　心肺蘇生法（熱中症・異物除去）	施設内
9/8～9　・・・ R2 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	浜田
9/28～29　・・・ R2 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	出雲
9/29　・・・新人職員研修	浜田
12/8　・・・介護実践研修（居宅介護事業所と合同研修）	施設内
12/9　・・・サービス管理責任者更新研修	出雲
2/17　・・・衛生委員会　メンタルヘルス研修	施設内
毎月・・・生活介護職員会議（ケース検討会議）	施設内
〃　　看護職員会議	施設内
運営会議　衛生委員会　各委員会（広報、まつり）	施設内

５、成果と課題

○　毎月ケース検討会議を開催し、利用者が快適な生活が過ごせるように、また個々の状況やニーズに基づいた個別支援計画より適切、きめ細かなサービス提供に努めた。

利用者の個々の興味、能力に応じた、小グループによる軽作業（タオルたたみ、畑作業)、創作活動（季節の壁面飾り、習字）軽運動（キャッチボール、散歩､）等を負担なく楽しい時間を作るような支援を行った。

啓発委員会企画の自閉症イベントの青の作品の出展をした。切る、貼る、塗る等の作業分担を行い作品作りに取り組んだ。自信とやりがいが得られ、楽しみや達成感に繋がる活動提供ができた。

年度末に利用者満足度アンケートの実施をした中に「簡単な手芸活動がしたい」や「畑を利用して花を植えて育てたい」との意見があった。新たな活動の見直しをしていきたい。

○　利用者が施設利用中に安全に安心して過ごしてもらうようにヒヤリハット・事故報告書による未然防止、再発防止に努めるように事業所内会議や終礼で話合いをした。苦情に対しても、迅速に対応を行った。

医療的ケアの必要なケースは、看護職員会議を毎月開催しマニュアルの作成を行い、生活支援員との連携・適切な支援を行った。

○ 支援技術の向上を図るために、居宅介護事業所（ヘルパー）との合同で介護技術方法の勉強会を開催した。安心安全な介護の提供のために、他事業所との連携を図り、介助方法の確認・情報共有することができたことは有意義だった。

○ 20 名の定員に対して平均利用者数が 15.7 人と前年度を上回る結果となってはいるが、曜日によって、受け入れの難しい状況となっている。また個別対応の必要なケース、入浴ニーズも増えている。多種多様な利用者ニーズに応えられるように 1 日の支援スケジュールの調整を行った。

給食提供時間変更（11:40→12:00）

入浴支援を午前・午後の実施。

令和２年度　居宅介護等事業報告書

（居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護・移動支援）

1. 実績

（居宅介護）

	身体介護		家事援助		通　院		合　計	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2
4 月	195.5	194.5	211.75	167.5	17.5	21	424.75	383
5 月	182.5	186.5	198.25	158	25.5	18	406.25	362.5
6 月	177	184	196	159.5	26.5	22	399.5	365.5
7 月	176	165.5	200.75	149	32.5	18.5	409.25	333
8 月	184	176.7	156	148.5	19.5	27	359.5	352.2
9 月	187.5	192.5	159.75	150.5	22.5	19	332.25	362
10 月	205.5	191	186.74	157	11	23.5	403.24	371.5
11 月	195.5	179	173	156.5	27.5	15.5	396	351
12 月	219	187	156.5	175	14.5	26.5	390	389
1 月	185	216	155	152.25	22	27	362	402.75
2 月	185.5	172	145	156.75	20.5	16.5	351	345.25
3 月	203.5	214.5	162.5	153.25	21.5	28.5	387.5	398.25
合計	2296.5	2259.2	2101.24	1883.75	261	263	4621.24	4415.95

（同行援護・行動援護・重度訪問介護・移動支援）

	同行援護		行動援護		重度訪問介護		移動支援	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2
4 月	42.5	27.5	3.5	0	0	0	15.66	26.98
5 月	44	22	3.5	0	0	0	24.65	26.17
6 月	38.5	22	3.5	0	0	0	25.29	21.66
7 月	50.5	27.5	3.5	3.5	0	0	26.58	21.52
8 月	31	18.5	3.5	3	0	0	25.77	22.1
9 月	41.5	24.45	3.5	3.5	0	0	22.09	24.44
10 月	34.5	23.5	3.5	3.5	0	0	21.59	36.05
11 月	32.5	17	3.5	3.5	0	0	21.93	26.14
12 月	30	25	3.5	0	0	0	21.07	28.76
1 月	20.5	12	3.5	0	0	0	19.86	15.49
2 月	24.5	16.5	3.5	2.5	0	0	22.51	20.42
3 月	29	25	3.5	2.5	0	0	23.93	37.93
合計	419	260.95	42	22	0	0	270.93	307.66

※ ヘルパー職員会議　　ヘルパー会議　月 1 回(2 時間)

2. 利用者数(実人数)

令和３年３月末時点

	令和１年	令和２年
居宅介護	30 人	29 人
行動援護	１人	１人
重度訪問介護	０人	０人
同行援護	４人	６人
移動支援	６人	６ 人

3. 職員研修

内　容	日にち	場　所	人　数
心肺蘇生法講習会	６月 18 日	あゆみの里	３名
介護実践研修(生活介護合同)	12 月 ８日	あゆみの里	３名
メンタルヘルスの研修	２月 17 日	あゆみの里	３名

※コロナの関係で予定していた研修が中止になった。

4. 成果と課題

成果

○ 訪問時間が重なり職員全員が揃う時間が少なかったが、職員会議を増やしたことで統一した支援に繋がった。

○ 精神障がいのある母親の家事援助に入ることで、少しずつ生活が安定してきている事例もある。

課題

○ 自分の性に違和感がある方に、どのように寄り添ってよいか迷いが生じるケースがある。状況報告書には記載していないことも訪問回数を重ねるごとに表れてくることもある。その都度関係機関と連絡をとるようにし、また知識を深めていきたい。

○ 成果にも挙げたが、精神障がいを抱え子育てをしている利用者が増えている。緊急性を察知し、支援が遅れないように関係機関に早く情報を伝える。

○ ヘルパーの高齢化で身体介護に対応できる者が少なく、シフトの調整や急な変更の対応が難しくなった。また、職員の身体の故障が増えてきているため、予防とメンテナンスが必要。

令和２年度　手話通訳事業報告書

1.　手話通訳設置事業（益田・津和野・吉賀含む）

	R1	R2
通訳対応件数総数 （センター内・センター外）	501 件 (306 件・195 件)	494 件 (260 件・234 件)
通訳時間	949 時間 40 分	1160 時間 50 分

○　職員研修（オンラインにて受講）

・　令和２年 12 月　19 日　　手話奉仕員養成担当講師ブロック研修会　　１名
・　令和２年 12 月２日～26 日　　手話奉仕員養成担当講師ブロック研修会　　１名
・　令和３年２月１日～３月 21 日　手話奉仕員養成担当講師連続講座（実技編）１名
・　令和３年２月 28 日　　全国手話通訳問題研究会 WEB 学習会　　２名
・　令和３年３月１日～21 日　　手話奉仕員養成担当講師連続講座（講義編）１名
・　令和３年３月 13～28 日　　テレビジョン放送における手話通育成に関する研修会 １名

○　会議

・　令和２年７月 31 日
令和２年度設置通訳者、手話通訳等派遣コーディネーター会議　　１名

2.　手話通訳者及び要約筆記者派遣事業

登録者数			R1			R2		
			益田	津和野	吉賀	益田	津和野	吉賀
手話	通訳者		6	1		5	1	
	奉仕員		45	10	10	54	8	5
要約筆記	手書き	筆記者	8	1	1	8	1	1
		奉仕員	9	4	2	9	2	0
	パソコン	筆記者	5	1		6	1	
		奉仕員	3			3		

派遣件数及び派遣内容	R1		R2	
	手　話	要約筆記	手　話	要約筆記
医療	70	4	53	16
行政	44	1	4	1
警察・裁判所	0	1	4	0
教育・労働	1	0	3	0
生活	38	10	50	5
講演・会議	14	19	9	12
その他	8	8	4	1
合　　計	175	43	127	35

3. 手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成研修事業

○ 手話奉仕員養成講習会

益　田（令和２年７月～令和３年３月）　入門課程修了 24 名(24 名受講)
津和野（令和２年７月～令和３年３月）　入門課程修了 11 名(13 名受講)
吉　賀（令和２年７月～令和３年３月）　入門課程修了 ４名(5 名受講)

○ 研修会（益田・津和野・吉賀含む）

参加 延べ人数	手話 (14 回／年)	筆記 (手書き・パソコン各 6 回／年)
益　田	195 名	18 名
津和野	19 名	5 名
吉　賀	21 名	1 名

4. あゆみの里手話通訳者等派遣事業〈独自事業〉

R1			
手話：62 件		要約筆記：31 件	
外部団体：60 件	法人：2 件	外部団体：23	法人：8
R2			
手話：25 件		要約筆記：3 件	
外部団体：25 件	法人：0 件	外部団体：3 件	法人：0 件

5. 成果と課題

○ 手話通訳設置事業

・ 病院通訳はコロナ感染の不安が大きいことから設置者が対応するように努めたこともあり通訳時間が増加。今後、通訳者感染時の保障について検討が必要。
・ 手話言語条例が４月から施行されたこともあり公民館、保育所、学校等への手話出前講座が例年より増えた。しかし、あゆみの里がある地元での開催はされていない。行政と一緒に啓発活動が必要と考える。
・ 県内でも、コロナ感染症予防の観点から遠隔手話通訳サービスが始まっている。早急に制度の仕組み・内容を利用者と一緒に考えていく必要がある。
・ 設置者の頸頚腕症候群の検診を、広島の専門病院で受診。職員１名要注意２の診断だった。今後業務上の負担軽減、予防措置をどのようにしていくのかが課題。

○ 手話通訳者及び要約筆記者派遣事業

・ コロナ禍により通訳依頼が減少。新人登録者と同行の現場もなく、新人の育成が難しかった。
・ 感染対策として、通訳時に透明マスクをすること、通訳当日の体調の確認

をすることなどを当事者・通訳者に理解をして厳守してもらった。

○　手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成研修事業

・　コロナウイルス感染拡大のため、研修会を中止や延期の期間にコミュニケーション通信を作成し、登録者のモチベーション維持につなげた。
・　感染対策を取り講師団の協力をいただきながら、研修会を計画通り開催。また、令和３年度の手話通訳者養成につなげるための研修会も開催することができた。
・　要約筆記者養成を現場研修として要約筆記奉仕員の研修会を開催。利用者である難聴者の声をしっかり聴くことができた。
・　手話奉仕員養成を３市町（益田・吉賀・津和野）で開催。夜や土曜日に開催することで受講希望者が多かった。都合の悪いときには３か所で受講可能にしたことで欠席回数を減らすことができた。

○　あゆみの里手話通訳者等派遣事業

・　コロナ禍で講演会等が中止となり派遣依頼が激減。数少ない派遣現場の中から出た課題を職員で共有しながら、より良い派遣となるように心がけた。

○　その他

・　益田市では、手話通訳士２名、手話通訳者７名と県内でも少ない。手話通訳者養成は大田市１か所で２年間（月３回程度）の開催をしている。益田圏域からの参加は難しい状況である。専門的な通訳を行う上で、手話通訳士や手話通訳者は必要であるため、県西部（浜田・益田）での開催を要望していくことが必要と思われる。

令和２年度地域活動支援センター事業告報書

1.　開所日数　289　　日(4 月 1 日～3 月 31 日)

2.　登録者数　　(3 月 31 日現在)

	精神	肢体	視覚	聴覚	内部	知的	重複	手帳無	合 計	R2 年 3 月末
益　田	42	3	1	2	0	11	0	9	68	82
津和野	3	1	0	3	0	2	0	0	9	11

3.　延べ利用者数　　(4 月 1 日～3 月 31 日)

	精神	肢体	視覚	聴覚	内部	知的	重複	その他	合 計	R2 年度合計
益　田	2,353	0	31	2	0	231	0	324	2,941	2,789
津和野	227	0	0	0	0	2	0	0	229	228

※その他　は、発達障がいの特性が顕著な利用者、手帳を保持していない利用者

4.　延べサービス提供数　　(4 月 1 日～3 月 31 日)

			精神	肢体	視覚	聴覚	内部	知的	重複	他	合計	R 元年度合計
基礎的事業	1．憩いの場の提供	益　田	2,417	0	31	2	0	238	0	339	3,027	2,997
		津和野	239	0	0	0	0	2	0	0	241	250
	2．創作活動・生産活動 仲間作りの機会の提供	益　田	1,171	0	30	4	0	127	0	435	1,767	1,931
		津和野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	3．コミュニケーションや 人間関係づくりの支援	益　田	177	0	13	0	0	19	0	45	254	298
		津和野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
機能強化事業	4．地域交流活動	益　田	14	0	3	0	0	10	0	6	33	145
		津和野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	5．相談（電話も含む）	益　田	1,108	0	21	2	0	165	0	55	1,351	996
		津和野	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
1～5 の合計		益　田	4,887	0	98	8	0	559	0	880	6,432	6,367
		津和野	240	0	0	0	0	2	0	0	242	260

＊ 昨年度と比較し、全体的に減少傾向なのは就労に結び付き、利用がなくなった方が 2 名いたこと、またコロナ禍で講座の中止や外出を自粛された方がいたことが原因と考えられる。逆に相談が増えているのは、コロナ禍で外出自粛された方からの電話相談が増えたこと、仕事を辞め家にいることで不安が強くなった方からの相談が 1 日に何回もあることが原因と考えられる。

5. 成果と課題

① 専門的知識を身に付けていくために積極的に研修会、勉強会に参加する。

■ 上半期は、コロナ禍のため研修会等の開催がなかった。

□ 下半期は令和 2 年 11 月に「子ども・若者への向き合い方を学ぶ研修会」に参加した。また、「傾聴」についての勉強も行った。

② ひきこもりの方が、一歩踏み出す『居場所』として利用していただけるよう、まず子ども若者支援センターの見学に行き、地活職員がセンターの役割を知ること、センターの職員さんと顔見知りになることから始める。

■ 支える会の行事として「子ども・若者支援センター」所長の安倍氏に講師を依頼しての講演会を予定していたがコロナ禍のため中止となった。

■ 関係機関より紹介があり、利用につながった方もいる。精神的な症状がみられる方もいるが、受診はされていない。実際に関わると新たな課題が見える。関係機関との連携も大切。

□ 令和 3 年 3 月に地活職員 2 名で子ども・若者支援センターを訪問。センターの取り組みや、市内の家族支援の施設や団体の情報など教えていただいた。

□ はっぴー号に、地活を利用中の方からのメッセージをいただき、ひきこもりの方が一歩踏み出すきっかけづくりを試みた。また、ひきこもりに関する記事を毎月地活予定表の裏面に掲載している。啓発にもなり、また職員の勉強にもなっている。

「こもれび」の皆さんの活動をよく知り、また地活の活動よく知っていただくために「こもれび」の例会に毎回参加する。

■ 上半期はコロナ禍のため開催がなかったり、日程把握ができずに参加ができなかった。下半期は、1 回参加した。

□ 手芸と麻雀倶楽部には、こもれびのメンバーさんが毎回参加してくださり交流がはかれた。

③ 今利用されている方の安定が続くよう、支援する。

■ 職員の精神が安定することが大切。不調を感じたときには休んで、気持ちの安定を図った。

□ コミュニケーションが苦手な方が多いので、様子を細やかに観察し、体調や様子を日々お聞きしている。また、電話での相談も日々お聞きしている。日々の支援がみなさんの安定の一助にはなっていると思われる。

□ 職員が受けた「ストレスへの対処法（認知行動療法の活用）」の研修をかみ砕いて、地活の学習会で利用者へお伝えした。『とてもわかりやすかった』と好評だった。

④ 昨年度に引き続き、個々の「強み」をいかす支援、また個々の「夢」や「希望」をお聞きして少しでも夢や希望に近づくことができるように相談支援事業所等関係機関と連携をとりながら支援をする。

■ 特定の人への支援にとどまり、新たな取り組みはできていない。少しずつでも利用者に協力していただけるような活動を取り入れて、それぞれの「強み」を活かしてもらえる機会を作っていきたい。

□ 社会福祉協議会、松ヶ丘病院、各相談支援事業所、サービス提供事業所と情報交換をしながら、支援を行っている。必要に応じて今後も関係機関と情報を共有しながらご本人の望む生活に近づけるよう支援していく。また、職員会議などで、障害福祉サービスのしくみ、制度のことなど勉強する機会も設けたい。

令和２年度　障害児通所支援事業(放課後等デイサービス)報告書

1. 登録者数（令和３年３月 31 日現在）

○市町別

益田市	吉賀町	津和野町
13 名	0 名	0 名

○男女別

男児	女児
9 名	4 名

○学年別

小学部 1、2 年	小学部 3，4 年	小学部 5，6 年	計
2 名	1 名	3 名	6 名
中学部 1 年	中学部 2 年	中学部 3 年	
0 名	2 名	0 名	2 名
高等部 1 年	高等部 2 年	高等部 3 年	
0 名	2 名	3 名	5 名

2. 実　績

	令和１年度 延べ利用者数（1日平均利用人数）	開所 日数	令和２年度 延べ利用者数（1日平均利用人数）	開所 日数
４月	176 人（8.8 人）	20 日	126 人（6.0 人）	21 日
５月	154 人（8.1 人）	19 日	107 人（5.9 人）	18 日
６月	139 人（7.0 人）	20 日	139 人（6.3 人）	22 日
７月	177 人（8.0 人）	22 日	127 人（6.0 人）	21 日
８月	133 人（7.8 人）	17 日	116 人（6.4 人）	18 日
９月	144 人（7.5 人）	19 日	109 人（5.7 人）	19 日
小計	923 人（7.8 人）	117 日	724 人（6.0 人）	119 日
10 月	154 人（7.7 人）	20 日	130 人（5.9 人）	22 日
11 月	131 人（6.5 人）	20 日	86 人（4.5 人）	19 日
12 月	155 人（7.7 人）	20 日	128 人（6.0 人）	21 日
１月	156 人（8.2 人）	19 日	99 人（5.2 人）	19 日
２月	141 人（7.8 人）	18 日	98 人（5.4 人）	18 日
３月	178 人（8.4 人）	21 日	148 人（6.4 人）	23 日
合　計	1,838 人（7.7 人）	235 日	1,413 人（5.8 人）	241 日

3. 活動内容

・個別指導(20 分程度の課題提供)　絵本、マッチング、パズル、型はめ、紐通し
・室内遊び（ブランコ、棒体操、製作活動、感触遊び、音楽遊び）
・外遊び（サッカー、散歩、プール、水遊び、公園など）
・クッキング（カレーライス、そうめん、焼きそば）
・ドライブ（北仙道、美都、日原、田万川）
・社会参加（運動公園、市内外公園）
※コロナの関係で外出行事や音楽療法はなるべく控えた。

日程	研修、講演会名	場所・人数
毎月 1 回	職員会議（個別ケース、予定の確認など）	
6 月 18 日	心肺蘇生法講習会	あゆみ・3 名
7 月 7 日	重度心身障がい児者親の会	益田・2 名
9 月 25 日	放課後等デイサービス連絡会	つくしんぼ・2 名
10 月 29 日	放課後等デイサービス連絡会	タッチ・2 名
11 月 29 日	公開特別研修「特別支援教育現場の現状と課題、今後の展望」	益田・1 名
12 月 15 日	放課後等デイサービス連絡会	タッチ・4 名
12 月 19 日	人事考課研修	あゆみ・1 名
1 月 25 日	人権・権利擁護研修	浜田・1 名
1 月 27 日	人事考課研修	あゆみ・2 名
2 月 15 日	放課後等デイサービス連絡会（制度について）	益田・2 名
3 月 25 日	虐待防止研修	あゆみ・1 名

4. 成果と課題

○児童の障がいに対する専門的な知識や適切な支援方法を学ぶ機会を増やし、適切な支援ができるよう取り組む。
⇒数少ない研修の中、学んだことを職員間で共有した。個別支援計画書を見直し、適切な支援方法を検討しスキル向上に繋げた。職員会議のみでは無く、日々気になることは確認し合い支援を行った。

○個別の障がい特性を理解し、情報を共有しながらスタッフが共通した支援を行う。
⇒日々、子どもに携わる中で特性を把握し、プログラムに繋げることで個別活動や集団活動を充実して実施することが出来た。毎回、来所前に〝本日の注意事項〟を回覧し

個々への配慮等について共通理解の下、支援するようにした。

○個々に応じたプログラムを作成し、能力を伸ばしながらできることを増やしていく。
⇒個々の得意なプログラムに取り組むことで自信へと繋げ、苦手な面は段階を経て経験を積み重ねるようにしている。個別課題だけでなく、その子にあった体の取り組みもしている。直ぐに成果が出るものではないため、年間を通して時間をかけ繰り返し行うようにしている。

令和２年度　日中一時支援事業報告書

1.　実績

	令和１ 年度		令和２年度	
	月別利用人数	延べ利用人数	月別利用人数	延べ利用人数
４月	14 人	37 人	14 人	75 人
５月	９人	18 人	11 人	51 人
６月	１人	４人	２人	５人
７月	14 人	56 人	14 人	36 人
８月	15 人	91 人	14 人	89 人
９月	１人	４人	２人	５人
小計	54 人	210 人	57 人	261 人
10 月	５人	９人	７人	11 人
11 月	１人	５人	２人	５人
12 月	15 人	34 人	９人	15 人
１月	13 人	22 人	10 人	21 人
２月	６人	10 人	５人	６人
３月	16 人	49 人	15 人	55 人
合計	110 人	339 人	105 人	374 人
月平均利用人数	9.1 人		8.7 人	

2.　登録者数　　15 名　　（障がい者　３名、障がい児　12 名）

3.　成果

・　法人全体で体制を整え、乳児支援も受け入れることが出来ている。困っているご家族の対応も含め、協力して支援にあたっている。

令和2年度 相談支援事業報告書

1、委託・指定相談支援

◎益田市

支援方法	身体	知的	精神	発達	高次脳	重心	その他	実件数
訪問	238	256	101	75	23	65	0	704
来所相談	76	101	159	51	7	10	0	359
同行	4	25	16	2	3	1	0	49
電話相談	362	298	500	202	43	96	0	1,329
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	32	37	23	34	6	8	0	132
関係機関	1,079	889	528	247	163	333	5	2,835
その他	28	16	9	5	5	7	0	65
計	1,819	1,622	1,336	616	250	520	5	5,473
前年度	2,176	1,635	1,787	998	228	634	2	6,614

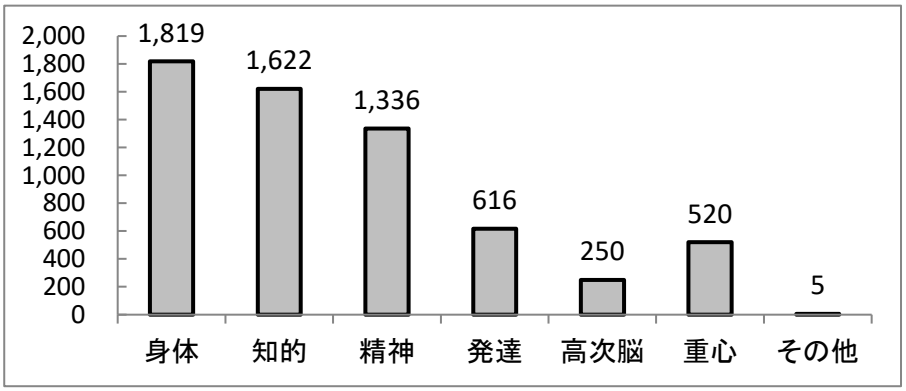
◎津和野町

支援方法	身体	知的	精神	発達	高次脳	重心	その他	実件数
訪問	8	7	18	0	9	0	0	34
来所相談	1	8	12	0	4	0	0	24
同行	2	0	1	0	2	0	0	3
電話相談	24	17	3	0	26	0	0	47
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	1	2	1	0	1	0	0	4
関係機関	37	18	72	0	45	0	0	137
その他	4	0	0	0	4	0	0	4
計	77	52	107	0	91	0	0	253
前年度	54	42	82	1	52	0	0	182

◎吉賀町

支援方法	身体	知的	精神	発達	高次脳	重心	その他	実件数
訪問	0	0	5	0	0	0	0	5
来所相談	0	0	0	0	0	0	0	0
同行	0	0	0	0	0	0	0	0
電話相談	0	0	2	0	0	0	0	2
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	0	0	1	0	0	0	0	1
関係機関	0	0	21	0	0	0	0	21
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	29	0	0	0	0	29
前年度	0	0	17	0	0	0	0	17

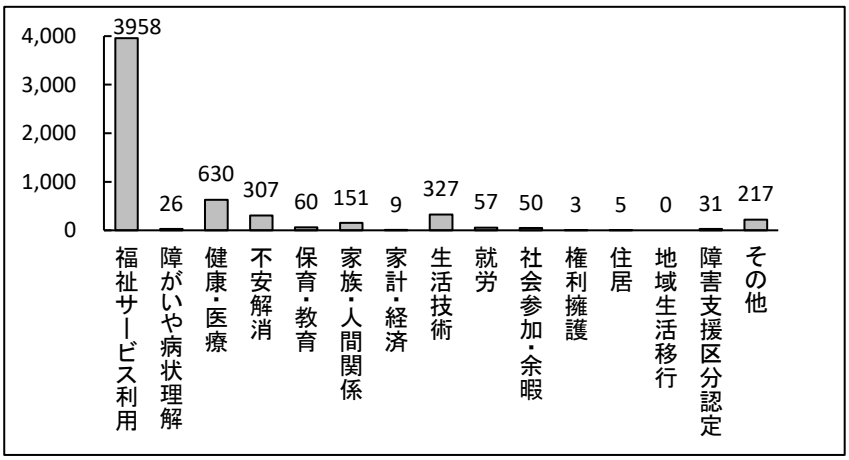
障がい種別
（益田市）



支援内容（益田市）

	身体	知的	精神	発達	高次脳	重心	その他	実件数
福祉サービスの利用等に関する支援	1,309	1,231	674	543	195	486	4	3,958
障がいや病状の理解に関する支援	7	8	6	0	8	0	0	26
健康・医療に関する支援	323	190	182	13	14	25	0	630
不安の解消・情緒安定に関する支援	22	24	263	12	0	0	0	307
保育・教育に関する支援	0	15	1	42	0	2	0	60
家族関係・人間関係に関する支援	40	68	38	2	5	1	1	151
家計・経済に関する支援	5	2	1	1	0	0	0	9
生活技術に関する支援	81	122	119	1	3	3	0	327
就労に関する支援	29	7	21	0	25	0	0	57
社会参加・余暇活動に関する支援	37	6	38	0	2	2	0	50
権利擁護に関する支援	0	1	2	0	0	0	0	3
住居に関する支援	0	5	0	0	0	0	0	5
地域生活移行・自立生活に関する支援	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分認定に関する支援	13	20	9	0	0	0	0	31
その他	72	46	106	18	7	12	0	217
計	1,938	1,745	1,460	632	259	531	5	5,831

【福祉サービスの利用】サービスの情報提供、事業者の紹介、利用申請や契約に係る支援、
　　サービスに関する苦情対応、地域における様々な資源の紹介・活用に関わる支援
【障がいや病状理解】障がいの受容・理解に関しての本人や家族への支援
【健康・医療】医療機関等の紹介や同行、服薬管理、生活のリズムや生活習慣
【不安の解消・情緒安定】不安や孤独感の軽減を目的とした傾聴
【保育・教育】幼稚園や保育園の紹介や利用の助言、学校・教育・進路に関わる支援
【家族・人間関係】家族関係、人間関係の調整に関する支援
【家計・経済】年金・手当・生活保護制度に関する支援
【生活技術】金銭管理に関する支援、家事、育児に関わる支援
【就労】就職活動や面接等に関わる支援、雇用条件及び勤務先との調整
【社会参加・余暇活動】コミュニケーションに関する支援、外出や移動に関する支援、
　　サークル活動の紹介や同行
【権利擁護】苦情に関する相談、法律相談、人権・権利侵害に関する支援
【住居】住宅修繕、住宅改修・改造、住宅環境、住宅情報、バリアフリーに関する支援
【地域生活移行・自立生活】地域生活移行、自立支援プログラム等に関する支援
【障害支援区分認定】障害支援区分認定や認定調査に関する支援



◎研修会、会議、その他

	研　　修	会　　議
4月		・相談支援会議
5月		・相談支援会議
6月		・相談支援会議 ・島根県相談支援アドバイザー・ 圏域コーディネーター連絡会議
7月		・相談支援会議 ・第2回島根県相談支援従事者養成研修 検討委員会
8月	・相談支援従事者初任者研修 ファシリテーター	・相談支援会議 ・自立支援協議会障がい福祉人材育成部会 打ち合わせ
9月		・相談支援会議 ・地域生活支援拠点検討のための ワーキングチーム会議 ・自立支援協議会障がい福祉人材育成部会
10月		・相談支援会議 ・益田市在宅重度心身障害児（者）親の会 意見交換会
11月	・相談支援従事者初任者研修 ファシリテーター	・相談支援会議 ・自立支援協議会障がい福祉人材育成部会
12月	・社会福祉士実習指導者講習会	・相談支援会議
1月		・相談支援会議 ・自立支援協議会障がい福祉人材育成部会 ・自立支援協議会　運営会議
2月	・相談支援従事者養成研修 受講前打ち合わせ	・相談支援会議 ・令和2年度精神障がい者地域移行・ 地域定着支援　益田圏域会議
3月	・相談支援従事者指導者養成研修 《初任者コース》 ・相談支援従事者研修指導者 養成研修振り返り研修	・相談支援会議

※職員会議は毎月、ミニ会議は毎週実施。
※益田圏域相談支援コーディネーター受託。

2、島根県高次脳機能障がい者支援事業圏域相談支援拠点業務

◎目的：益田圏域において専門的な相談支援、関係機関との地域支援ネットワークの構築・高次脳機能障がいに関する研修等を行い、高次脳機能障がい者に適切な支援が提供される体制整備を図ることを目的とする。

【相談のべ件数】

	電話	来所	訪問	メール	その他	実件数
本人	5	4	26	0	4	39
家族	43	1	7	0	1	52
関係機関	130	8	8	3	0	149
計	178	13	41	3	5	240
前年度	140	22	41	7	11	221

※コーディネーター1名分のカウント。

【当事者・家族のつどい】

○第1回「ストレッチ＆茶話会」（外出自粛で固まった体を動かそう！）
日　時：令和2年7月18日（土）10:00～11:30
場　所：益田市障害者福祉センターあゆみの里（食堂）
参加者：当事者4名・家族5名

【ネットワーク会議】
・第1回：令和2年5月22日（金）津和野町（社会福祉協議会）延期
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月23日(日)に延期
・第1回：令和2年8月23日（日）益田市（益田市人権センター）中止
※益田圏域にて、新型コロナウイルス感染者が発生したため中止
・第1回：令和3年2月8日(金)13:30～14：00 益田市（益田合同庁舎)にて実施

【令和2年益田圏域高次脳機能障がい者支援研修会】
・8月23日（日）益田市（益田市人権センター）
※益田圏域にて、新型コロナウイルス感染者が発生したため中止
・第1回：令和3年2月8日(金)14:15～15:00 益田市（益田合同庁舎)にて実施
「家族の想い～地域の皆さんに知ってほしいこと」 発表者 村上小夜子氏

○成果と課題

◎新型コロナの影響により、福祉サービスの提供や医療機関の対応に変更があったが、より連携を図り、対応を協議する事で利用者の生活に不利益が生じないよう配慮して調整を行った。
◎ミニ会議にて困難事例の検討やサービス事業所の情報共有が出来た。
●ミニ会議にて色々な課題が見えてきた。（障がい特性に対する支援、利用者主体、ご家族全体での支援など）
◎コロナ感染症拡大防止対策を図り、ネットワーク会議を開催している。
◎地域拠点（松ヶ丘病院）と連携し取り組を行っている。
◎啓発活動により、当事者家族・県外医療機関・事業所からの相談が増えている。
◎つどいの案内、周知依頼を継続している。家族のみの参加も継続できている。

令和２年度　あゆみの里就労支援事業(レインボーハウス)報告書

Ⅰ　就労移行支援事業　　利用者なし

Ⅱ　就労継続支援Ｂ型事業

1.　登録者数（令和３年３月 31 日現在）　（人）

	身体	精神	知的	合計
レインボーハウス	０名	９名	11 名	20 名

2.　１か月延べ利用者数（1 日平均利用者数）　（人）

	令和２年度	令和元年度
４月	373（17.0）	291（14.6）
５月	314（15.7）	277（13.9）
６月	400（17.4）	261（13.1）
７月	380（17.3）	305（13.9）
８月	318（16.7）	254（12.7）
９月	325（16.3）	265（13.9）
10 月	374（17.0）	303（13.9）
11 月	334（16.7）	275（14.3）
12 月	309（16.3）	303（15.2）
１月	310（16.3）	298（15.7）
２月	241（14.2）	324（16.3）
３月	328（13.1）	354（17.9）
合　計	4,005（16.1）	3,510（14.6）

3.　平均支払い工賃　（円）

	令和２年度	令和元年度
４月	１４，７０９	１４，１５９
５月	１４，１６３	１４，０７９
６月	１４，９１３	１４，４８５
７月	２２，００２	１４，２７５
８月	１３，０３２	１２，７３７
９月	１３，２９２	１２，８１２
10 月	１４，８７６	１４，４４７
11 月	１５，０３８	１２，７１１
12 月	２２，３４２	１２，０２７
１月	１２，１２５	１０，９６４
２月	１３，１１７	１１，０３１
３月	１３，８４１	１２，４３１
合　計	１８３，４５０	１５６，１５８
１２か月平均	１５，２８７	１３，０１３

＊ 毎月の平均支払工賃額＝月の工賃総支給額÷１日平均利用者数

4.　体験利用・実習・見学・ボランティア

○　体験利用　　松江盲学校１名　益田養護中等部１年１名

○　実　　習　　益田養護学校（高等部１年１名）

○　見　　学　　アスノア

○　ボランティア　・精神福祉ボランティア「こもれび」

レインボーハウス　年２回　１名

※「こもれび」の皆さまのご厚意により１月７日にレインボーハウス

とたんぽぽ利用者に「七草がゆ」をふるまっていただいた。

5.　活動状況

4 月	お花見	10 月	
5 月	健康診断	11 月	避難訓練
6 月	避難訓練 バーベキュー	12 月	茶話会・学習会（感染症）
7 月	福祉ゾーン美化活動	1 月	初詣・七草がゆ・利用者会議
8 月	茶話会	2 月	利用者説明会
9 月		3 月	お花見

6.　職員研修・会議等

○　職員研修

内　　容	日にち	場　所	人数
刈払機取り扱い安全衛生教育	9 月 11 日	大田市	2 名
福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者研修）	7 月 29 日～30 日	浜田市	1 名

7. 令和２年度の成果と課題

○ 成果

・ ４月　新規利用者１名あり。（益養卒業生）

・ ２月　A 型事業所へ移行　１名

・ ３月　一般就労へ移行　１名

・ コロナ関連で国県の就労系福祉サービスの補助金があり、それを活用し施設備品等の整備を行うことができた。

今年度就労支援事業で助成決定のあったもの

1. 赤い羽根共同募金 A 助成（給食用保冷車）　１，５００，０００円

2. 赤い羽根共同募金 B 助成（ラベルライター）　８０，０００円

3. 令和 2 年度島根県障がい者就労支援事業所工賃向上支援事業
新商品開発・販路開拓事業　５００，０００円

4. 令和 2 年度島根県障がい者就労支援事業所工賃向上支援事業
施設整備補助金　７，５００，０００円

5. 就労系福祉サービス等機能強化事業
生産活動拡大等支援強化事業　５００，０００円

6. 公益財団法人愛恵福祉支援財団　緊急助成　５００，０００円

7. 就労系福祉サービス等機能強化事業
生産活動活性化支援事業　５００，０００円

・ 島根県から就労事業として受けた島根県要約筆記者養成講座を、10 月から利用者と一緒に行った。

○ 課題

・ コロナの影響もあり、就労収入が激減している。工賃向上や費用対効果を見ながら、現状の作業内容の見直しを行う必要がある。

・ 作業所が手狭になり、多目的室（休憩室）も作業場として使用している。コロナ対応のこともあり、広い作業スペースの確保が難しくなってきている。

・ 利用者個々の障がい特性に応じた作業の提供が難しくなってきている。しかし、作業の種類が多くなると作業場に出ている時間が多くなり、記録等の時間が取れなくなってしまう。また経験が少ない職員が多いため、作業の指示や利用者の相談の対応など、依然正規職員の負担が大きい。

・ ウエスの原料の仕入れが激減し今後も見通しがたたない。他企業に依存しない、自主事業で収益を上げていくことも必要だが、体制が整わず、新規事業を開始することが出来ない。また、印刷業務も利用者の体調不良や指示、指導できる職員の体制がとれないため、一時的に新規での注文を停止することとした。

いずれも、利用者と職員ともに体制を整えるのが課題だが、作業を提供するために新規事業を始めるなど、作業項目を増やすと職員の体制作りが追いつかない（職員が足らない）、また、事業を継続するための利用者の確保が難しい。

令和２年度　あゆみの里就労継続支援Ｂ型事業(たんぽぽ)報告書

1.　登録者数（令和３年３月 31 日現在）　（人）

	身体	精神	知的	合計
たんぽぽ	０名	13 名	８名	21 名

2.　１か月延べ利用者数（1 日平均利用者数）　（人）

	令和２年度	令和元年度
４月	283（12.9）	279（14.0）
５月	255（12.8）	268（13.4）
６月	295（12.8）	263（13.2）
７月	244（11.1）	255（11.6）
８月	248（13.1）	220（11.0）
９月	286（14.3）	252（13.3）
10 月	335（15.2）	248（11.3）
11 月	272（13.6）	208（10.9）
12 月	299（14.2）	233（11.7）
１月	270（15.0）	218（11.5）
２月	262（15.4）	230（11.5）
３月	340（14.8）	287（13.0）
合　計	3,389（13.7）	2,961（12.2）

3.　平均支払い工賃　（円）

	令和２年度	令和元年度
４月	１０，６８７	９，０７７
５月	１０，０７５	９，２６９
６月	１１，２３９	９，０９５
７月	１８，８２０	１１，８５９
８月	９，１８３	９，７６６
９月	９，３３１	９，１９３
10 月	９，４２５	１０，８２０
11 月	９，７９７	９，５３３
12 月	１１，１６６	９，５８５
１月	７，９６５	９，２８３
２月	７，４４３	９，４８９
３月	１０，７１３	９，４５６
合　計	１２５，７４４	５８，２５９
１２か月平均	１０，４８７	９，７０９

＊ 毎月の平均支払工賃額＝月の工賃総支給額÷１日平均利用者数

4.　体験利用・実習・見学・ボランティア

○　体験利用　　ぷらっと経由１名　益田養護中等部１年１名

○　実　　習　　益田養護学校（高等部１年１名）

○　見　　学　　個人１名

○　ボランティア　・精神福祉ボランティア「こもれび」

月１回程度　１名

※「こもれび」の皆さまのご厚意により１月７日にレインボーハウス

とたんぽぽ利用者に「七草がゆ」をふるまっていただいた。

5.　活動状況

4 月	お花見	10 月	
5 月	健康診断	11 月	
6 月	避難訓練 バーベキュー	12 月	茶話会・学習会（感染症）
7 月	福祉ゾーン美化活動	1 月	初詣・七草がゆ・利用者会議
8 月	茶話会	2 月	
9 月		3 月	避難訓練、利用者説明会

6.　職員研修・会議等

○　職員研修

内　　容	日にち	場　所	人数
就労支援基礎研修	8 月 25～27 日	大田市	1 名

7. 令和２年度の成果と課題

○ 成果

・ 新規利用者５名。（7 月に２名、8、9、12 月に各１名）

・ コロナ関連で就労系福祉サービスの補助金があり、作業に必要な施設備品の整備を行うことができた。

・今年度就労支援事業で助成決定のあったもの

就労系福祉サービス等機能強化事業
生産活動活性化支援事業　　５００，０００円

・ 下半期でトーイツの作業量がコロナ禍以前の状況に回復してきているため、就労収入も回復してきている。

○ 課題

・ トーイツの状況が回復傾向にあり就労収入も回復してきているが、さらに増やせるよう単価の改正を交渉する。

・ たんぽぽの主力事業であるトーイツ作業は景気に大きく左右される。企業に依存しない安定した収益を上げていくことために、どのようなことをしていけばよいのか考えていく必要がある。

・ たんぽぽ作業所の移転が１年後に迫ってきた。まだ具体的な移転先等は決まっていないが、移転に向けての準備を進めていく必要がある。